平成25年１月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年９月７日

上 場 会 社 名	株式会社ストリーム	上場取引所	東証マザーズ
コ ー ド 番 号	3071	URL	http://www.stream-jp.com/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)劉　　海涛	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理本部長	(氏名)竹下　謙治	TEL　(03)6858－8189
四半期報告書提出予定日	平成24年９月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

１．平成25年１月期第２四半期の連結業績（平成24年２月１日～平成24年７月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年１月期第２四半期	12,166	△36.7	△297	―	△300	―	△394	―
24年１月期第２四半期	19,233	5.2	219	16.9	237	17.6	124	7.6

（注）　包括利益　　25年１月期第２四半期　　△365百万円(―%)　　24年１月期第２四半期　　119百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年１月期第２四半期	△9,901　21	―　―
24年１月期第２四半期	3,123　77	―　―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年１月期第２四半期	5,358	1,369	25.2
24年１月期	5,696	1,732	30.1

（参考）　自己資本　　25年１月期第２四半期　1,351百万円　　24年１月期　1,715百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年１月期	―　―	0　00	―　―	0　00	0　00
25年１月期	―　―	0　00			
25年１月期(予想)			―　―	0　00	0　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年１月期の連結業績予想（平成24年２月１日～平成25年１月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	24,515	△27.9	△502	―	△518	―	△652	―	△16,392　61

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年１月期２Ｑ	42,750株	24年１月期	42,750株
②　期末自己株式数	25年１月期２Ｑ	2,953株	24年１月期	2,953株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年１月期２Ｑ	39,797株	24年１月期２Ｑ	39,797株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料５ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……5
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……6
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……6
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……6
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……6
（４）追加情報 ……6
３．四半期連結財務諸表 ……7
（１）四半期連結貸借対照表 ……7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……9
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……9
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……10
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（４）継続企業の前提に関する注記 ……12
（５）セグメント情報等 ……12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかに回復しつつあり、個人消費や企業収益なども一部持ち直してきております。

しかしながら、欧州債務危機や新興国の景気減速懸念、長期化している円高の影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

インターネット通販業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、これらモバイルによるネット通販の市場規模の拡大もあり堅調に推移しています。

一方、当社が属する家電・ＰＣ販売の小売業界におきましては、家電エコポイントの終了や地上デジタル放送化に伴う駆け込み需要の反動等から低迷が続き、これらの収益環境の悪化に起因した家電量販店各社の更なる競争激化や、生き残りをかけた業界再編の動きが大きくなっております。

このような経済環境の中、当社のインターネット通販事業におきましても、家電小売業界全体の収益環境の影響等から大手家電量販店や競合各社との価格競争が顕著となり、テレビ・パソコン・白物家電等の主力取扱商品の販売が大きく減少し、同事業の売上高は前年同四半期比6,461百万円減（36.6％減）の11,184百万円と大幅な減収となりました。

主力取扱商品別の収益動向としましては、薄型テレビの販売が前年同四半期比2,028百万円減（81.1％減）の472百万円となり、それに伴い関連品であるレコーダーの販売も前年同四半期比393百万円減（60.7％減）の254百万円と落ち込みました。その他ではノートパソコンの販売が市場におけるスマートフォンの販売増や今秋発売予定の新ＯＳの影響による買い控え、また、売れ筋モデルの商品調達が不十分だったこともあり、前年同四半期比642百万円減（36.6％減）の1,112百万円となり、洗濯機、冷蔵庫等の白物家電も総じて低調に推移しました。

他方、震災を契機とした節電意識の高まりから、省エネ関連品としてＬＥＤ照明等の販売が低価格化もあいまって前年同四半期比129百万円増（104.9％増）の253百万円と伸長しました。その他、ミラーレスタイプなどのデジタル一眼レフカメラが市場で好調に推移し、当社では関連商品である交換レンズの販売が前年同四半期比95百万円増（111.3％増）の182百万円となりました。

費用面につきましては受注減に伴う物流費用の減少や、外部サイト経由の販売低調により広告宣伝費用などの減少があったものの、本社や物流倉庫移転による地代家賃の増加などもあり、販売管理費全体としては294百万円（前年同四半期比18.0％減）の減少に留まり、収益の落ち込みをカバーできるまでの費用削減には至りませんでした。

その結果、インターネット通販事業における売上高は11,184百万円（前年同四半期比36.6％減）、営業損失262百万円（前年同四半期は208百万円の営業利益）となりました。

インターネット通販事業の売上・来店客数推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	来客数(千人)	受注件数(千件)	会員数(千人)
当第２四半期連結累計期間	11,184	△262	24,562	507	6,518
前第２四半期連結累計期間	17,646	208	61,229	726	5,709

	家電	パソコン	周辺／デジカメ	その他	合計
当第２四半期連結累計期間	5,687	1,294	2,414	1,788	11,184
前第２四半期連結累計期間	10,001	2,184	3,260	2,199	17,646

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。
※会員数は顧客情報を登録頂いている顧客数の累計です。

その他事業につきましては、主要取扱商品である太陽光関連のバックシートの販売は欧州経済不安の影響から需要の低迷が続き、供給過多からくる販売価格の下落もあり、前年同四半期比727百万円減（60.2%減）の480百万円と大きく下落しました。塗料部門ではＯＡ機器や通信関連向けが低調だったものの、中国国内における自動車生産台数の伸びを背景に自動車関連向けの需要が堅調に推移し、前年同四半期比19.8%の増収となりました。

又、食品部門についても、前年同四半期比4.1%の増収となる等、堅調に推移いたしましたが、太陽光関連の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

その結果、その他事業における売上高は981百万円（前年同四半期比38.1%減）、営業損失は34百万円（前年同四半期は10百万円の営業利益）となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高12,166百万円（前年同四半期比36.7%減）、営業損失297百万円（前年同四半期は219百万円の営業利益）、経常損失300百万円（前年同四半期は237百万円の経常利益）となりました。また、平成24年２月に判明した過年度決算訂正に係る関連費用61百万円、倉庫移転に伴う物流拠点移転費用23百万円を特別損失に計上するとともに、繰延税金資産を一部取崩したことにより、四半期純損失394百万円（前年同四半期は124百万円の四半期純利益）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第２四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ338百万円減少し、5,358百万円となりました。これは主に、差入保証金63百万円増加、現金及び預金78百万円減少、売上減等による受取手形及び売掛金231百万円減少、未収入金の減少等による流動資産「その他」43百万円減少によるものであります。

（負債の部）

当第２四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、3,988百万円となりました。これは主に、１年内償還予定の社債61百万円減少、未払法人税等91百万円減少、未払金の減少等による流動負債「その他」66百万円減少、長期借入金92百万円減少、短期借入金347百万円増加によるものであります。

（純資産の部）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ363百万円減少し、1,369百万円となりました。これは主に、四半期純損失394百万円の計上によるものであります。

②　キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ78百万円減少し、288百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、138百万円（前年同四半期は317百万円増加）となりました。収入の主な内訳は、減価償却費83百万円、売上債権の減少額279百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失385百万円、仕入債務の減少額105百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、114百万円（前年同四半期は121百万円使用）となりました。支出の主な内訳は、差入保証金の差入による支出75百万円、無形固定資産の取得による支出56百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は、172百万円（前年同四半期は１百万円増加）となりました。収入は、短期借入金の純増額332百万円であり、支出の主な内訳、長期借入金の返済による支出92百万円、社債の償還による支出61百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年９月６日に平成25年１月期の業績予想を修正致しました。

連結経営成績に関する定性的情報に記載のとおり、当第２四半期連結累計期間におけるインターネット通販事業におきましては、政府の消費喚起政策後の需要反動を契機とした家電量販店各社や競合各社の更なる競争激化から、価格競争も顕著となり、同事業の主力商品であるパソコン、テレビ、白物家電製品等の収益は大きく落ち込みました。更にその他事業においても太陽光関連事業が低調に推移し業績修正を行うに至りました。

第２四半期以降につきましても全般的な家電消費の低迷や家電メーカーを含む競争環境は更に厳しさを増すものと想定しており、当社の主力事業の業績も全般的には売上、利益ともに低調に推移することが見込まれます。

このような環境の下、インターネット通販事業においては販売価格の最適化システムの構築に着手し、販売状況に応じた販売機会の獲得拡大に取り組むと共に仕入能力を更に高めます。又、フラッシュマーケティングや企画コンテンツ（売場）を充実させ集客力を高めるよう業績の回復に努め、他方、既に実施済の事項もありますが物流費をはじめ費用の見直し、削減を図ります。その他事業につきましては主力部門である太陽光関連の不振を塗料、食品部門の販売で補うよう努めます。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	366,765	288,005
受取手形及び売掛金	2,151,255	1,919,873
商品	1,781,962	1,793,389
その他	345,408	302,308
貸倒引当金	△2,618	△2,274
流動資産合計	4,642,774	4,301,302
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,968	2,459
車両運搬具（純額）	16,425	13,619
工具、器具及び備品（純額）	83,211	81,875
建設仮勘定	2,939	1,556
有形固定資産合計	104,545	99,510
無形固定資産		
ソフトウエア	285,269	366,807
のれん	141,787	108,318
その他	106,872	17,424
無形固定資産合計	533,929	492,551
投資その他の資産		
投資有価証券	76,868	81,867
出資金	35,284	36,108
差入保証金	270,594	334,436
その他	32,095	12,234
投資その他の資産合計	414,843	464,647
固定資産合計	1,053,318	1,056,709
繰延資産		
社債発行費	190	－
繰延資産合計	190	－
資産合計	5,696,283	5,358,011

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年７月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,936,028	1,871,376
短期借入金	958,530	1,306,526
1年内返済予定の長期借入金	185,600	185,600
未払法人税等	98,546	7,510
賞与引当金	13,470	5,020
ポイント引当金	5,466	3,048
その他	340,067	273,268
流動負債合計	3,537,710	3,652,351
固定負債		
長期借入金	252,700	159,900
その他	173,592	176,640
固定負債合計	426,292	336,540
負債合計	3,964,003	3,988,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	619,625	619,625
資本剰余金	559,625	559,625
利益剰余金	783,461	389,422
自己株式	△182,230	△182,230
株主資本合計	1,780,480	1,386,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,316	△12,640
為替換算調整勘定	△47,431	△22,516
その他の包括利益累計額合計	△64,748	△35,156
新株予約権	2,152	3,997
少数株主持分	14,395	13,837
純資産合計	1,732,280	1,369,119
負債純資産合計	5,696,283	5,358,011

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年２月１日 至 平成23年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）
売上高	19,233,428	12,166,532
売上原価	17,254,201	11,023,320
売上総利益	1,979,227	1,143,211
販売費及び一般管理費	1,759,993	1,440,217
営業利益又は営業損失（△）	219,233	△297,005
営業外収益		
受取利息	290	221
受取配当金	10,049	8,459
為替差益	8,910	－
投資有価証券売却益	－	9,130
その他	6,336	2,523
営業外収益合計	25,587	20,334
営業外費用		
支払利息	5,553	21,601
為替差損	－	1,660
その他	1,698	229
営業外費用合計	7,251	23,491
経常利益又は経常損失（△）	237,569	△300,162
特別利益		
貸倒引当金戻入額	197	－
特別利益合計	197	－
特別損失		
物流拠点移転費用	－	23,743
過年度決算訂正関連費用	－	61,335
災害による損失	6,551	－
特別損失合計	6,551	85,078
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	231,215	△385,241
法人税等	105,622	9,355
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	125,592	△394,597
少数株主利益又は少数株主損失（△）	1,275	△558
四半期純利益又は四半期純損失（△）	124,316	△394,038

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年２月１日 至 平成23年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	125,592	△394,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,339	4,675
為替換算調整勘定	5,258	24,915
その他の包括利益合計	△6,080	29,591
四半期包括利益	119,512	△365,005
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,236	△364,446
少数株主に係る四半期包括利益	1,275	△558

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年２月１日 至 平成23年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	231,215	△385,241
減価償却費	75,534	83,591
のれん償却額	33,469	33,469
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△261	△343
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,560	△8,647
ポイント引当金の増減額（△は減少）	2,396	△2,418
受取利息及び受取配当金	△10,340	△8,680
支払利息	5,553	21,601
売上債権の増減額（△は増加）	82,994	279,708
たな卸資産の増減額（△は増加）	△222,267	9,296
仕入債務の増減額（△は減少）	320,555	△105,857
その他	△93,605	52,936
小計	423,682	△30,584
利息及び配当金の受取額	10,340	8,692
利息の支払額	△6,547	△21,725
法人税等の支払額	△109,758	△95,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	317,716	△138,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	－
有形固定資産の取得による支出	△1,428	△5,996
無形固定資産の取得による支出	△100,088	△56,605
投資有価証券の取得による支出	△13,297	△3,177
投資有価証券の売却による収入	－	13,750
差入保証金の差入による支出	－	△75,336
その他	△6,135	12,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,250	△114,435
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100,000	332,327
長期借入れによる収入	200,000	－
長期借入金の返済による支出	△17,000	△92,800
社債の償還による支出	△57,750	△61,250
配当金の支払額	△23,921	△98
その他	－	△5,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,328	172,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,401	1,584
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	199,196	△78,760
現金及び現金同等物の期首残高	464,222	366,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	663,419	288,005

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年２月１日　至　平成23年７月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,646,359	1,587,069	19,233,428	―	19,233,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	17,646,359	1,587,069	19,233,428	―	19,233,428
セグメント利益	208,447	10,785	219,233	―	219,233

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年２月１日　至　平成24年７月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,184,541	981,991	12,166,532	―	12,166,532
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	11,184,541	981,991	12,166,532	―	12,166,532
セグメント損失（△）	△262,884	△34,120	△297,005	―	△297,005

(注)セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。